

表在性膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT: Transurethral Resection of Bladder Tumor）の術後の再発と排尿障害の関連

2021年9月1日から2023年3月31日までに表在性膀胱癌に対してTURBTを受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「表在性膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT: Transurethral Resection of Bladder Tumor）の術後の再発と排尿障害の関連」という研究を行います。この研究は、2021年9月1日より2023年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院泌尿器科にて、表在性膀胱癌のためにTURBT治療を受けられた患者さんの術後の再発と排尿障害の関連を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：表在性膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT: Transurethral Resection of Bladder Tumor）の術後の再発と排尿障害の関連

研究期間：倫理委員会実施許可日～2028年3月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 泌尿器科 柳雅人

（2）研究の意義、目的について

表在性膀胱癌は泌尿器科疾患のなかでも非常に多い疾患です。TURBTは表在性膀胱癌の根治術として行われる標準治療です。TURBTでは膀胱鏡を用いて腫瘍まで到達しループ型の電気メスで腫瘍を細かく切除し摘出する方法です。TURBT後の再発をたびたび認めるため、様々な臨床研究が行われてきました。近年では排尿障害が再発と関連していることが報告されています。そのため本研究では当施設で表在性膀胱癌に対してTURBTを受けられた患者さんの排尿障害関連の検査結果と再発との関連を解析することを目的にします。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年9月1日より2023年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院泌尿器科で表在性膀胱癌に対してTURBTを受けられた患者さんの診療情報を収集します。TURBT後の再発群と非再発群に分けて統計解析を行い、再発と排尿障害の関連を分析します。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、体重、身長、喫煙歴、既往歴、内服歴、CT所見、術後経過、等

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 泌尿器科 講師（教育担当） 柳雅人

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3306

メールアドレス：area-i@nms.ac.jp